

一以貫之

平成29年度 敦賀気比高等学校 第1学年
 学年通信 第10号
 平成29年12月20日(水)

(いちいかんし)

「一を以て之を貫く」とも読みます。
 孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
 自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

冬休みに向けて ~ 学年主任より ~

第2学期が終了します。早いもので、第1学年も残すところ3ヶ月になりました。みなさんにとって、高校に入学してからの学校生活は充実してましたか。入学時に立てた目標に対しての到達度を分析して下さい。学業、部活動とも直ちに結果が出るものではありません。日々の努力の積み重ねが結果につながるのです。今年の分析を踏まえ、2018年はさらにステップアップしてほしいと思います。

冬期休業中は補習・部活動などで忙しいと思いますが、体調管理をしっかりと行い規則正しい生活を送って下さい。新年を迎えたら、また新たな目標を立ててほしいと思います。

3学期元気な顔で登校してくることを楽しみにしています。よいお年を。

冬期休暇中の課題 第1学年		1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
共通	青少年からのメッセージ(原稿用紙3枚以上5枚以内)	提出締切日 1月9日(火);担任に提出すること。						
国語	WINSTEP現代文およびWINSTEP古典							
数学	チャート課題(補習期間中に指示する)			数学I プリント 提出締切日:1月9日(火)			数学I プリント 提出締切日:1月9日(火)	
英語	英語表現I(1-2組共通) Breakthrough基本例文ノートp50~65 英作文"A person I admire"90語以上(用紙は12/25に配布) 提出締切日1/4(木)			コミュニケーション英語I・英語表現I 共通課題 プリント 提出締切日:1月4日(木)			コミュニケーション英語I ①プリント 提出締切日:1月5日(金) ②Lesson 7 Machu Picchu Part 2,3の予習 提出締切日:1月9日(火)	
地理 公民				コミュニケーション英語I Chapter 5 The History of Ice Cream Part 4の予習 提出締切日:1月9日(火)			ワークP103-106	
理科	化学基礎 補習中の課題を仕上げる 生物基礎・物理基礎・地学基礎 2学期の復習しておくこと			地学基礎 2学期の復習ワーク 提出締切日 1月9日(火)			地学基礎 なし	

冬期特別講座の予定



※ 成績不良者には、別途補習等があります。
 ※ 出張等により、時間割の変更があります。

12月25日(月)
 26日(火)
 27日(水)

	1時	2時	3時	4時
1年1組	数学	英語	国語	化学
1年2組	英語	国語	化学	数学
1年3組	英語	数学	国語	化学
1年4組	成績不良者補習			
1年5組	山形/奥州/田中			
1年6組	成績不良者補習			
1年7組	教壇			

1月4日 特別進学コースのみ実施
 (木)

	1時	2時	3時	4時
1年1組	数学	英語	国語	化学
1年2組	英語	国語	化学	数学
1年3組	国語	英語	数学	山形
1年4組	英語	国語	数学	化学
1年5組	数学	英語	国語	山形
1年6組	英語	数学	国語	化学
1年7組	国語	英語	数学	化学

1月5日
 (金)
 全コース実施

特別進学コースのみ
 12月28日(木)
 も実施します。

冬休みから新学期初めにかけての行事予定



12月	22日(金)	第2学期終業式
	25日(月)	冬期特別講座前期(~28日)
1月	4日(木)	冬期特別講座後期(~5日)
	9日(火)	第3学期始業式
	13日(土)	休業日
	14日(日)	付属中学校入試
	20日(土)	県模試(大学進学を希望する人は、受験を考えてみてください)
	21日(日)	英検(1次)
	22日(月)	休業日
	27日(土)	休業日
		高校・推薦制入試

【保存版】「評定平均値」を計算してみよう

少し気が早いかもしれませんが、将来の進路選択をする時に重要な役割を持つ事になる「評定平均値」について説明します。

「評定平均値」を一言で言うならば、**どれだけ学習に真面目に取り組んだかを示す学業成績の目安となる値**であり、その値は2.0~5.0の範囲で示されます。

この「評定平均値」は、就職希望者の受験先校内選考の時、推薦入試に応募できるかどうか判断する時はもちろんのこと、実際の入学試験や入社試験の際に評価対象となります。実際に、**ある大学の入試で0.1ポイント差で不合格になった**ケースがありました。この差は言うまでもなく「評定平均値」の差であり、あと少し普段の学習を真面目に取り組んでいたなら、間違いなく合格できたはずなのです。

このように重要な「評定平均値」ですが、正確な値を生徒のみなさんや保護者の方にお知らせすることはできません。

では、出願などしようと思ったとき評定平均値がわからないのに、どうやって判断したらいいのかという疑問を持つと思います。こうした場合は、まず自分の希望をはっきりと決め、次に担任の先生に出願の条件に合うかどうかを確かめてください。条件に合っているなら出願は可能ですが、合わなかったら、少しレベルを下げて次の候補を探す事になります。

ところで皆さんは、まだこうした状況にはありません。それなのになぜこうした話をしているかというと、「**評定平均値**」というのは**3年間の積み重ねの結果**だからです。1年生の時から気づいていれば、先ほど紹介した0.1ポイントの不合格など起こりはしなかったはずだから伝えたいのです。

では、どうすれば「評定平均値」を良くすることができるのでしょうか。当然のことですが、授業に真面目に取り組む、試験で良い成績を取ることが1番の近道なのですが、どれくらい頑張ればいいのか。

「評定平均値」は言うまでもなく「評定」を平均した値です。ならば、「評定」とは何でしょうか。

皆さんに手渡される成績表には「評定点」と言って100点満点で成績がつけられていますが、この**成績を5段階で示したものが「評定」**です。

したがって、まず皆さんが目指すべき事は、各教科の評定を上げることです。そこで、「評定点」を「評価」に換算する概ねの基準を示すと下の表のようになります。

通知表の成績	40点台	50点台	60点台	70点台	80点以上
概ねの評定	2	3	4	5	

この冬休みは、上の表と手渡された成績表を見直して、どうすれば評定が上がるのかを考えてみてください。